

## 令和4年度 第2回久留米市立図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 日時 令和5年2月28日（火）午前14時00分～15時00分
- 2 会場 久留米市立中央図書館 3階会議室
- 3 出席者 田住会長、梅野副会長、檜橋委員、佐野委員、笠野委員、鳥越委員、稲益委員、杉委員、清水委員、関本委員、守委員、永利委員、玉岡委員、伊藤委員  
（欠席者：荻野委員、山口委員）
- 4 事務局 赤司館長、白谷主幹、臼井司書主幹、甲斐田補佐、前田補佐、有田主査、中園
- 5 次第
  - (1) 開会
  - (2) 議事
    - ① 令和4年度 久留米市立図書館事業報告
    - ② 令和5年度 久留米市立図書館事業スケジュール
  - (3) その他

### ～ 質疑応答 ～

委員：中央館の令和4年度の貸出者数、貸出冊数は伸びているが、地域館は伸びがない。中央館については令和3年度はZEB化工事の影響で利用が減った為と考えられるが、地域館についての考察を教えてください。

事務局：中央館のZEB化工事期間中は、地域館へ利用者が分散されていたが、ZEB化工事が終了してからは、中央館に戻ってきたことが原因の一つと考える。地域館では、ボランティアと連携して、おはなし会やブックスタートなど様々な行事を行っているので、今後も中央館とも連携して貸出者数や冊数が増える努力を続けていく。

委員：①田主丸図書館の入って右側にAVの機器があるが、ほとんどが使用できないもの。撤去するにも予算がなく難しいだろうが、置いたままにするのも良くない。撤去もしくは使用できるものは、市内の学校に利用してもらおうなどしてはどうか。  
②くるめりあ1階に、6階の六ツ門図書館についての案内表示がない。建物外側の東と南の壁面にはあるが、1階に表示がないので、場所が認知されにくい。予算措置を行い、図書館のサインについて検討してもらいたい。

事務局：①AVコーナーの機械は大半が故障している。処分するのにも予算がないので、中央館で一旦引き取り、空いたスペースを学習スペースにできないか等、検討している。  
②施設管理者と協議し、図書館の案内表示について検討する。

委員：限られた予算の中ではあるが、速やかに市民目線での対応をお願いします。

委員：①図書館管理新システムについて。マイナンバーとの紐づけは、今後検討する予定はあるか。  
②12歳から21歳までのYA世代の登録者数が、中央館で全体の1%強。利用促進についての考察を教えてください。

事務局：①新システムにおいては、マイナンバーの利用は考えていない。マイナンバーカードを図書館の貸出カードとして使用できる自治体もあると聞いているが、今年度導入したシステムでは、現行の貸出カードの番号を利用する。今後のマイナンバーカードの交付状況と、システム更新時期をみて判断していく。  
②電子図書館を導入するため、来年度の予算要求を行った。予算の議決後は、令和6年4月に導入予定。導入されれば、電子機器の操作に長けた世代や、学校との連携における電子図書館の利用をきっかけにして、紙の図書館の利用につなげていきたい。

委員：うきは市、太宰府市では、学校のタブレットを利用して、県立図書館の電子書籍を利用する取り組みを行っている。

事務局：久留米市においても、学校との連携を検討している。広域圏での電子図書館の導入を進めているので、構成市町と調整しながら学校との連携を考えていく。

委員：電子図書館を導入するにあたっては、教育委員会との連携を強化し、また、タブレットの利用についても小中学校との連携を考えて頂きたい。

委員：令和5年のスケジュールの中に、学校図書館合同研修会や学校司書情報交換会があるが、先ほどの学校連携の内容が情報交換会の中にしっかりと組み込まれているか。また、企画についての計画や内容をきちんと伝えるシステムはあるか。

事務局：情報交換会は、中央図書館、六ツ門図書館、地域図書館、地域の学校司書が集まり、各館、年に1回～2回開催している。学校司書は各校に1人しかいないので、働くうえでの悩みや相談、意見もある。情報交換会では、それぞれの連携を図る場だが、それを公共図書館も共有している。

委員：学校現場において、学校司書の取り扱いがおざなりにされているように感じる。どこに相談したら良いか。

事務局：各学校の学校司書については、学校教育課が担当している。情報交換会については、図書館と学校教育課が担当。図書館と学校教育課も月1回協議を行っている。

委員：学校教育課にこのような意見が出たことを申し送りして頂きたい。

委員：各地域館の職員全てが会計年度任用職員で、正規職員がいない状況。学校図書においても同じ。

会計年度任用職員の労働条件についてどこにたずねたらよいか。ポテンシャルと働き方に問題があり、教育委員会や教育委員長を含め改善が必要と考える。学校図書は、本を読む入口であり、そこを変えない限り、図書館の利用者数は増えないと考える。それを認識したうえで、協議を進めるべき。

委員：会計年度任用職員については、人事部局、最終的には市長の考え方に基づいての採用になる。頂いた意見は、協議会のあり方も含めて委員の方からこのようなご意見を頂いたということを開連部局に伝えて頂きたい。

委員：①3月27日に県立図書館で日本図書館協会の非正規職員のセミナーが開催される。日本図書館協会においても会計年度任用職員についての全国の状況が報告・協議される。

②学校図書と公立図書館の連携について、学校長との情報交換を行うことで、何かしらの方向性が出るのではないかと考える。各地域館の館長も含めて検討頂きたい。

委員：①令和5年度の年間スケジュールについて、情報交換会が各館年1回ずつ。情報連携というが、年に1回は少ないのではないかと考える。公共図書館は半期ごと年に2回開催した方がいいのではないかと。

②久留米市の学校司書は有資格者なのか。

事務局：①情報交換会の開催は、年1回ではあるが、学校司書との図書館司書の合同研修会を年1回開催している。年度当初にスケジュールの共有と、事業への協力依頼を行い、最後に振り返りをする事も有意義だと考える。学校教育課も含めて、進め方について協議していく。

②ほとんどが司書資格を有している。久留米市では、会計年度任用職員も司書資格を有している方を公募し、採用している。学校司書についても同様。公共図書館では、有資格者が退職した場合などに、代替として事務職員を採用している。久留米市の図書館は、以前は司書資格を有していない行政職員が多かったが、現在は、資格を有した会計年度任用職員を有期で採用している。

委員：情報交換会については、回数にこだわらず、学期ごとに開催してはどうか。司書の悩みは個別に聞いていると思うが、離職防止や、質を高めることにもつながる。短時間でも、学期ごとの開催にすれば、より良い方向にいくのではないかと。また、このような機会がないと、現場の状況が行政側に伝わらない。次年度以降になるかと思うが、十分に検討して頂きたい。

(その他)

委員：読み聞かせボランティア研修会を年1回ではなく、もっと開催して頂きたい。

事務局：読み聞かせボランティア研修会は年1回だが、児童文学講演会を別途開催している。また、図書館の司書にお尋ね頂ければ、読み聞かせの本の選書や、特別貸出の案内を行う。